

# 『関西の同窓会（関西篠懸会）』 2012

平成24年7月14日、関西在住の宮崎医科大学卒業生18人が集まり、大阪のホテル阪急インターナショナルで同窓会を開きました。宴会に先立ち、4期生の橋本可成君（順心病院副院長、消化器センター長）が「炎症性腸疾患の診断と治療」という演題で講演してくれました。出席者の多くは学生時代に清武町のはまゆう荘や青雲荘やその周辺に下宿し、関西弁をしゃべる同郷の仲間として楽しく交流していました。昨年も同じ時期に同窓会を開いたのですが、今年もやろうということになりました。今回はこれを機会に会の名称を関西篠懸会として、毎年同窓会をやろうということになりました。来年は6月か7月の土曜日に開催する予定です。参加を希望される方は私まで御連絡下さい。

〒665-0034 兵庫県宝塚市小林4-7-58 あずまクリニック 東 強

Tel : 0797(73)1277 Fax : 0797(73)0284 E-mail : azumat@yahoo.co.jp

写真、前列左より松岡泰夫（5期生）、東 強（1期生）、後列左より橋本可成（4期生）、楠山剛紹（5期生）、宮本 洋（4期生）、森一樹（4期生）、益弘和雄（5期生）、高橋栄男（3期生）、福田 亙（4期生）、森口 浩（1期生）、豎山仁根（4期生）、斉藤裕之（3期生）、平川富夫（8期生）、安藤貴志（4期生）、徳田孝徳（3期生）、高尾美幸（5期生）、日下部典生（13期生）、大平真司（2期生）



# 2013

## 関西篠懸会（於：ヒルトン大阪ホテル）

平成25年7月6日、ヒルトン大阪ホテルで関西在住の宮崎医科大学卒業生が24人集まり、同窓会を開きました。宴会に先立ち、4期生の京都第一赤十字病院リウマチ・膠原病センター長、福田互先生が「関節リウマチ-この20年の進歩、一そしてこれからの10年-」という演題で講演してくれました。関節リウマチがもはや慢性という名前が削除される位、制御可能な疾患になったことがよく理解できました。恒例の記念撮影を行い、懇親会に入り、各会員から現状報告があり、会は大変盛り上がりました。名残惜しくありましたが、来年の再会を約して、お開きとなりました。

〔文責：東 強（昭和 55 年卒）〕



## 関西篠懸会（於：ヒルトン大阪ホテル）

平成 26 年 7 月 5 日、ヒルトン大阪ホテルで関西在住の宮崎医科大学卒業生が 23 人集まり、同窓会を開きました。宴会に先立ち、私が 5 期生の浦上信也先生から送っていただいた「大学病院と周辺の今」（船橋英樹篠懸会副会長撮影）と題した写真のスライドショーを行い、その後、京都鞍馬口医療センター消化器内科部長、京都府立医大臨床教授、4 期生の安藤貴志先生が「H. ピロリ感染症と除菌療法」という演題で講演してくれました。H. ピロリ感染症が胃癌や消化性潰瘍の発生に関与しているだけでなく、生活習慣病の進展にまで関与しているという最新の研究成果について分かりやすく話してくれました。講演後も学会さながらの活発な討議がありました。今回、初参加の母校の救急治療の教授であった 1 期生の寺井親則先生が「こんな学術的な会とは知らなんだ」と言ったほどでした。恒例の記念撮影を行い、懇親会に入り、各会員から現状報告があり、会は大変盛り上がりました。名残惜しくありましたが、来年の再会を約して、お開きとなりました。

〔文責：東 強（昭和 55 年卒）〕



## 関西篠懸会（於：ヒルトン大阪ホテル）

平成 27 年 6 月 27 日、ヒルトン大阪ホテルで関西在住の宮崎医科大学卒業生が 30 人集まり、同窓会を開きました。4 期生の宮崎大学フロンティア科学実験総合センター教授の加藤丈司先生も宮崎から参加してくれました。会の始めに京都鞍馬口医療センター消化器内科部長、京都府立医大臨床教授、4 期生の安藤貴志先生から、昨年 11 月 15 日に開催された宮崎医科大学開学 40 周年記念同窓会の参加報告がありました。その後、済生会滋賀県病院糖尿病・代謝内科部長、15 期生の稲本 望先生が「糖尿病薬物治療のパラダイムシフト」という演題で講演してくれました。CDE（糖尿病療養指導士）の活用、SU 剤から SGLT2 阻害薬に至るまでの内服治療薬とインスリン療法を症例呈示しながら詳しく説明され、とても参考になりました。また、医療事務を代行するクラークを外来診療の医師に各 1 人配置したところ、患者 1 人につき 1 分間の診察時間の短縮が見られ、全体として患者の待ち時間が 1 時間短縮されたという話もあり興味深かったです。懇親会に入り、各会員から現状報告があり、会は大変盛り上がりました。名残惜しくありましたが、来年の再会を約して、お開きとなりました。

〔文責：東 強（昭和 55 年卒）〕



## 関西篠懸会（於：グランヴィア大阪）

平成 28 年 7 月 9 日、グランヴィア大阪で関西在住の宮崎医科大学卒業生が 29 人集まり、同窓会を開きました。会の始めに、5 月 23 日に膵臓癌のため逝去された昭和 58 年卒の豎山仁根先生を偲んで黙祷を捧げました。その後、コープおおさか病院院長、2 期生の向井明彦先生が「膠原病疾患について — 発熱・関節症状・皮疹の診かたと専門医におくるタイミング —」という演題で講演されました。日本人の平熱は低いこと、関節の腫脹を触診で確かめることが大切であること、膠原病の皮疹は痒くないことが多いこと、専門医におくるタイミングは、臓器障害が出た時、38 度以上の熱発が 1 週間以上続く時、関節痛が 1 ヶ月以上続く時、レイノー症状、抗 dsDNA 抗体陽性、ANCA 陽性、抗リン脂質抗体陽性などであることを大変分かり易く説明いただき、とても参考になりました。懇親会に入り、各会員から現状報告があり、会は大変盛り上がりました。名残惜しくありましたが、来年の再会を約して、お開きとなりました。来年は、7 月 8 日（土）、同じグランヴィア大阪で開催することになりましたので、ご出席いただける方は私までご連絡いただけましたら幸甚です。

〒665-0034 兵庫県宝塚市小林 4-7-58 あずまクリニック 東 強

Tel: 0797(73)1277 Fax: 0797(73)0284 E-mail: azumat@yahoo.co.jp

〔文責：東 強（昭和 55 年卒）〕



## 関西篠懸会（於：グランヴィア大阪）

平成 29 年 7 月 8 日、グランヴィア大阪で関西在住の宮崎医科大学卒業生が 30 人集まり、同窓会を開きました。3 期生で関西篠懸会事務局長、医療法人永寿会福島病院副院長、高橋栄男先生が「合併症予防のための糖尿病治療」という演題で講演されました。糖尿病患者は健康寿命が約 10 年短いので包括的治療（血圧を下げる、脂質を正常にする、禁煙する）が必要であること。高齢者の糖尿病患者では低血糖を防ぐことが特に大切であること。SGLT2 阻害剤は心不全、腎不全を減少させ全死亡率を低下させる効果があることが最近注目されていることも紹介して下さい、とても参考になりました。

懇親会に入り、元宮崎医科大学小児科教授の杉本徹先生、10 期生で和歌山医科大学血液内科教授の園木孝志先生を含め各会員から現状報告があり、会は大変盛り上がりました。名残惜しくありましたが、来年の再会を約して、お開きとなりました。

来年は、7 月 7 日（土）、同じグランヴィア大阪で開催することになりましたので、ご出席いただける方は私までご連絡いただけましたら幸甚です。

〒665-0034 兵庫県宝塚市小林 4-7-58 あずまクリニック 東 強

Tel: 0797(73)1277 Fax: 0797(73)0284 E-mail: azumat@yahoo.co.jp

〔文責：東 強（昭和 55 年卒）〕



## 関西篠懸会（於：グランヴィア大阪）

平成 30 年 7 月 7 日、グランヴィア大阪で関西在住の宮崎医科大卒業生の同窓会が開催されました。当日は記録的な大雨にもかかわらず 29 名の参加がありました。明石海峡大橋が通行止めのためフェリーで駆けつけてくれた 4 期生で兵庫県立淡路医療センター副院長兼救命救急センター長・循環器内科部長、林 孝俊先生が「循環器疾患—30 年の進歩 我々の歩みも含めて再考する」という演題で講演してくれました。虚血性心疾患に DES (Drug-Eluting Stent : 薬剤溶出性ステント) がでてからパラダイムシフトが起きたこと、OCT (Optical Coherence Tomography : 光学的干渉断層検査) が極めて有用なこと、心不全治療にトルバプタン (バゾプレッシン拮抗薬) と NIPPV (Non-Invasive Positive Pressure Ventilation : 非侵襲的陽圧換気法) が強力なツールであること等が印象に残りました。また、4 期生 25 人のアンケートが披露され、今だから言えることとして、「沖合に見える海は瀬戸内海だと思っていた」とか「自分の人生は七転び八起きでなく、七転八倒であった」といった抱腹絶倒の内容でした。懇親会に入り、松尾 理 近畿大学名誉教授 (元宮崎医科大第 2 生理学助教授) や名古屋から駆けつけてくれた 1 期生の高木 一平君を交えて会は大変盛り上がりました。来年は、8 月 3 日 (土)、同じグランヴィア大阪で開催する予定です。御出席いただける方は私までご連絡いただけましたら幸甚です。【文責：東 強 (昭和 55 年卒)】

〒665-0034 兵庫県宝塚市小林 4-7-58 あずまクリニック 東 強

Tel: 0797(73)1277 Fax: 0797(73)0284 E-mail: [azumat@yahoo.co.jp](mailto:azumat@yahoo.co.jp)



## 2019 関西篠懸会（於：グランヴィア大阪）

令和元年8月3日、グランヴィア大阪で関西在住の宮崎医科大学卒業生が24人集まり、同窓会を開きました。3期生で医療法人永寿会福島病院副院長、高橋栄男先生が一般演題で「SGLT2阻害薬の最近の話題」という演題で講演。SGLT2阻害剤は糖尿病患者の心不全に有効であるばかりでなく、糖尿病のない腎症や心不全にも適応が広がる可能性があることを紹介されました。特別講演では20期生のなかい皮ふ科院長、中井章淳先生が「アトピー性皮膚炎ーガイドラインに準じた当院での診療ー」という演題で講演。ステロイド外用薬は使用する部位に応じてランクを変えること、抗ヒスタミン薬は掻痒感の強度や副作用を考慮して選択すること、目標は保湿とタクロリムス軟膏の外用のみとすることを自験例を紹介しながら説明されました。専門家の治療がいかに必要かを理解しました。懇親会に入り、各会員から現状報告があり、会は大変盛り上がりました。名残惜しくありましたが、来年の再会を約して、お開きとなりました。来年は、7月11日（土）に、ホテルモントレ大阪で開催することになりましたので、ご出席いただける方は私までご連絡いただけましたら幸甚です。

〒665-0034 兵庫県宝塚市小林4-7-58 あずまクリニック東強  
Tel: 0797(73)1277 Fax: 0797(73)0284  
E-mail: azumat@yahoo.co.jp [文責：東強（昭和55年卒）]

